

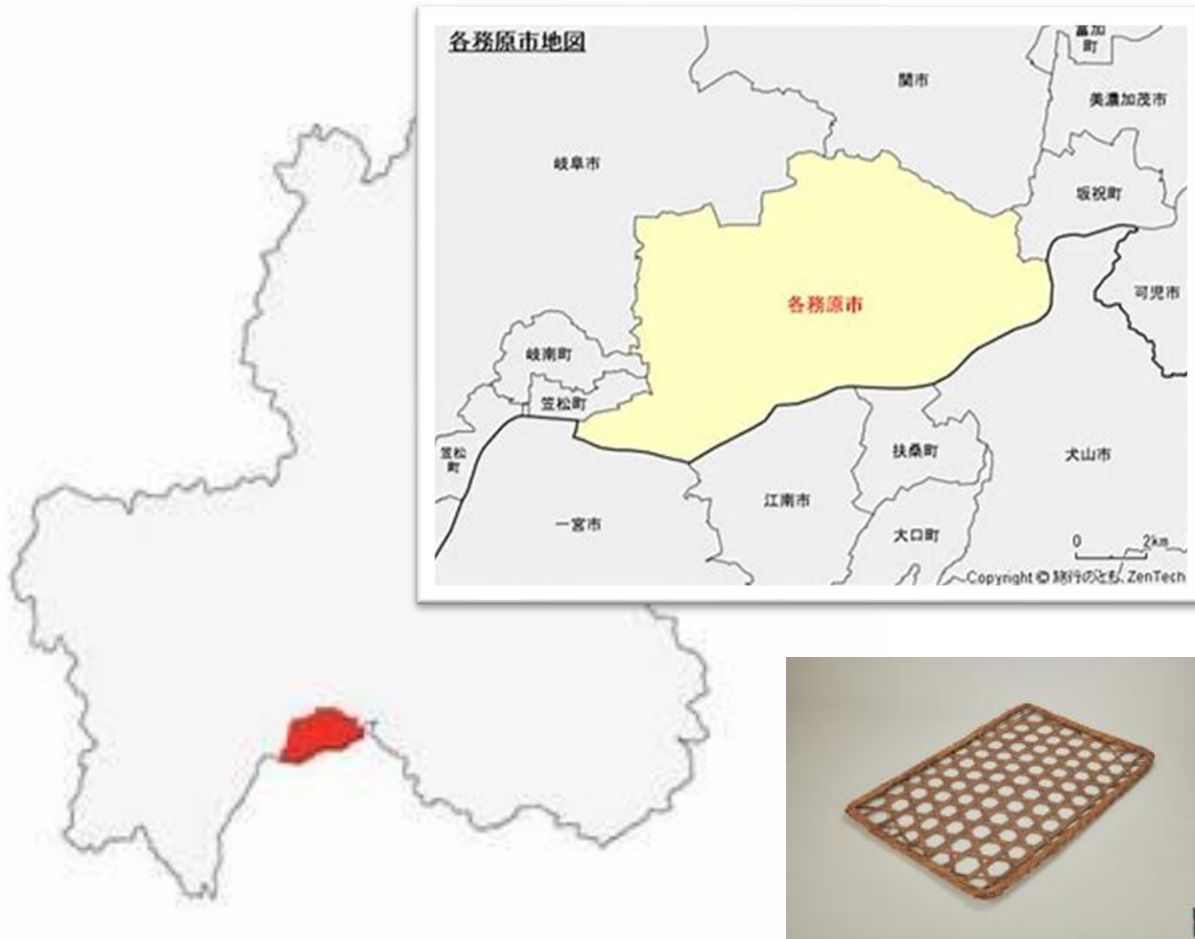
■地域デジタルアーカイブ企画

岐阜県各務原市に残る機屋群の デジタルアーカイブ企画

～景観保全・記録と教育利用～

2023/2/18
山本 由香

岐阜県各務原市の概要と産業



- 岐阜県の南端にあり、木曾川を挟み愛知県と接する
- 現在は航空機産業、にんじん・果実などの農産物
- 市南部の稲羽地区では昭和中期まで養蚕と絹織物が盛んであった
- かつての竹製品生産地である一宮市、江南市、扶桑町、関市に隣接

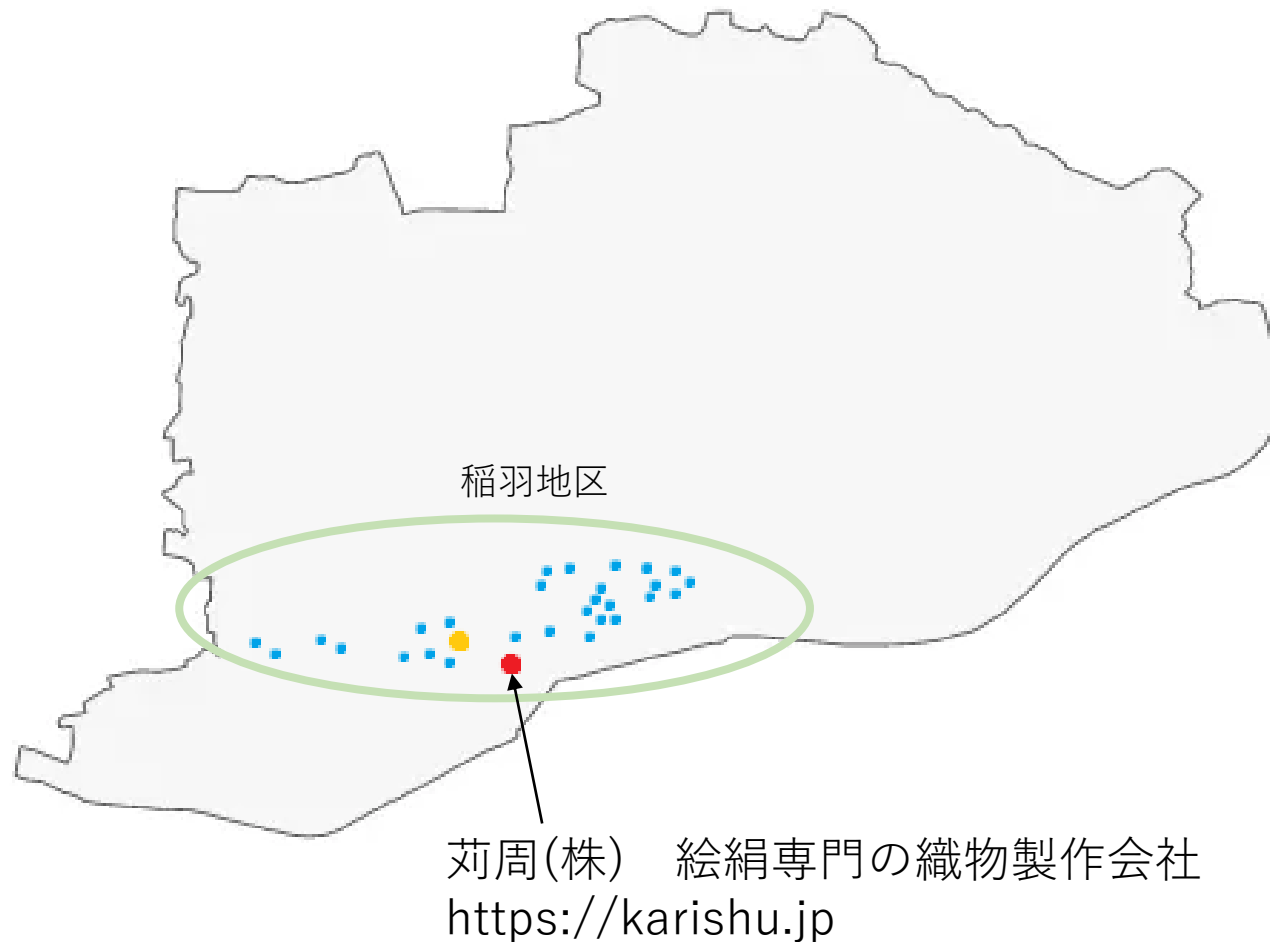
農林水産省HP 明治期の農林水産業発展の歩み
養糸業>養蚕>蚕箔(さんぱく) (江戸時代)

稲羽地区の機屋(はたや)

- 区内を木曾川街道が通っている
- 江戸時代後期から絹織物が盛んになり、昭和40～50年代頃まで続いた
- 主に農家の副業
- 北側に採光用の窓をとりつけた、のこぎり屋根が特徴
- いまなお区内に多くの機屋が残っているが、そのほとんどが個人所有でいつ解体されるかわからない



稲羽地区の機屋の現状



- 28軒の機屋が確認される(棟つづきも1として数える)
- 住居に改装、ソーラーパネル設置、倉庫、車庫など
- あまり使用されていない様子が見られる
- 現地にいくと消失している(3軒)



残存する理由

調査方法とまとめ方

【調査方法】

- ・ 現地をたずね正確な位置を地図上におとす
- ・ 外観の記録(写真、スケッチなど)、建築年、大きさ、内部、織物の種類
- ・ 各家に残された資料などの調査
- ・ 聞き取り(録音・録画)
→事前に十分な情報共有や意思疎通を図る
仲介者、協力者

【まとめ方】

- ・ d-commons.netなど
- ・ 1軒ずつ/付帯情報を追加

教育利用との接点を図る

- 地元の中学校生徒による調査(共同調査)
- 地域特性として三世代同居が多く、本家・新家(ほんや・あらや)[※]の関係がみられるので、調査に対する理解と協力が得られやすい
→過去に存在した機屋が見つかる可能性

(※本家と分家)

【課題】

- 小学校での調べ学習が中学校に連携されていない
- 地域学習の副読本は小学校に所蔵

【利点】

- キャリア教育の一助



まとめ

調査しデジタルアーカイブ化していくことで、地域学習の一助となり、地域の人々の機屋の価値への気づきや、保全・利活用への動機となることを期待する。



愛知県一宮市 平松毛織(株) のこぎり二

- ・アートギャラリー、アトリエとして活用
- ・隣接する建物をリノベーションしカフェやアウトドア用品店が利用
- ・保全運動の高まり